

真に民主的な労働運動を  
不断に追求し、働く者と  
家族の幸せ、JR産業の持  
続的発展を実現しよう!



# J R 連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

http://www.jr-rengo.jp

**日本鉄道労働組合連合会**  
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10  
東興ビル9階  
TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848  
FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849  
1部20円 (但し組合費に含む)  
●発行所 荻山市朗 ●編集者 今井孝治

facebook  
twitter



J R関係労働者のJ R連合への総結集をめざし、加盟単組の活動を強化する方針を決定

## J Rグループ労組連絡会第27回総会 J R連合への総結集にむけ 加盟全単組が活動を強化

J Rグループ労組連絡会は9月3日、岡山市で第27回総会を開催した。総会では、幹事会、総会委員、来賓、傍聴など80人が出席し、安全確立、組織強化・拡大、労働条件向上をはじめとし

たすべての活動を、J R関係労働者のJ R連合への総結集につなげるべく、加盟全単組が一丸となって取り組むことを確認した。

冒頭、幹事会を代表して中村鉄平交通政策部長が

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」秘書との意見交換会  
さるるなる連携強化で  
諸課題の解決を図る

9月2日、J R連合は「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」所属議員秘書との意見交換会を開催した。50人を超える議員秘書と、J R連合加盟各単組の政策担当者らが意見交換を行い、エリアごとの課題認識を共有し、今後の解決にむけた取り組みに対する理解と協力を求めた。

意見交換会の冒頭、主催者を代表して挨拶に立った荻山市朗会長は「J R連合は目下J Rにおける責任産別の地位を揺るぎないものにしていくが、J Rで働く

すべての仲間の「J R連合への総結集」にむけた取り組み強化を進めている」と語り、組織課題・政策課題をはじめとする課題解決のために政治との連携は欠かせないと訴えた。

その後、中山耕介組織部長が「J R連合の組織課題」として、J R産業界への革マル派浸透問題に対する政府等の公式見解などに触れ、「この『国家の治安問題』を1日でも早く解決しなければならぬ」と賛同を求めた。

中村鉄平交通政策部長が

「2019年度の重点政策課題」について、2020年度法制改正、自然災害への対応、地域公共交通の維持活性化、整備新幹線を取り巻く課題を説明。とりわけ、モータリシフト推進に不可欠な「J R貨物の高性能機関車に対する固定資産税の特例措置」等の適用延長とともに、J R北海道・J R四国への支援策が2020年度で節目を迎えることから、2021年度以降の支援実現にむけても議員フォーラムとの連携が必要であると呼びかけた。

エリアごとに分かれた意見交換会では、課題と解決にむけた方策を披露し、参加した秘書からも政治的なアプローチを踏まえた意見が出された。

「この『国家の治安問題』を1日でも早く解決しなければならぬ」と賛同を求めた。

中村鉄平交通政策部長が

幹事（J R西日本連合・NESCO労組委員長）は、グループ会社における慢性的な人手不足や離職率の高止まりについて、「労使一丸となって取り組まなければならない最重要課題」との認識を示したうえで、出席者に対して、賃金をはじめとした労働条件の向上に引き続き取り組むことや、J R東日本における労働組

合の動向にも触れつつ、改めて単組内で労働組合の必要性を説く取り組みを実施することを要請した。

来賓として、白壁靖子J R西日本連合事務局長、松岡裕次全国交運共済理事長が出席し、激励と連帯の挨拶を行った。J R連合からは、荻山市朗会長・尾形泰二郎事務局長が出席した。

議事では、事務局から2



議員秘書との意見交換会

J Rにおける責任産別たるJ R連合において、課題解決のためには政治との連携は欠かせないと訴える荻山会長

## 続々加入！北鉄労から 3人が仲間の輪に！ J R北労組苗穂工場支部

8月30日、J R北海道苗穂工場で働く3人の青年が、北鉄労を脱退し、J R北労組に加入した。

今回は、22歳、23歳、25歳の青年が仲間に加わり、7月から8月にかけてJ R北労組への加入が続いている。いずれも北鉄労に不信感を募らせた中で、自由で民主的なJ R連合・J R北労組の存在を知り、加入を決断した。

今こそJ R連合・J R北労組への  
総結集しかない

合の動向にも触れつつ、改めて単組内で労働組合の必要性を説く取り組みを実施することを要請した。

来賓として、白壁靖子J R西日本連合事務局長、松岡裕次全国交運共済理事長が出席し、激励と連帯の挨拶を行った。J R連合からは、荻山市朗会長・尾形泰二郎事務局長が出席した。

議事では、事務局から2

J R東海グループ労働組合連合会（J R東海連合）は9月6日から7日にかけて、岐阜県高山市内で第35回定期大会を開催し、新年度の運動方針を満場一致で決定した。

鎌田茂会長（J R連合副会長・J R東海ユニオン中央執行委員長）は挨拶の冒頭、度重なる自然災害にも

安全については、事故防止はもちろんのこと、防災防犯では触車事故が連続しており注意を要すること。組

組を代表する国際組織であるロシア労働組合連盟（VKP）のそれぞれ委員（略称：国際連合）との交流は1984年に開始され、今回が13回目の訪問と中心に学んだ。

ロシア鉄道をはじめ、J R連合加盟単組のように労働者が経営課題を含め真摯な協議を重ねる建設的な労使関係を築く企業が多くあることが印象的だった。

また、ソ連時代からの伝統もあり、育児支援の環境が少ない国だが、非常に明るく親切で友好的な方々ばかりで、働く仲間との連帯を深める有意義な訪問となった。

また、役員選出では4年

また、議事を一旦中断して実施した分科会別討議では、働き方改革関連法への対応や離職防止にむけた取り組みを中心に見聞交換を行い、各単組の課題や取り組みの共有を図った。

なお、幹事会については、五十嵐浩孝幹事（J R東海連合・東海キヨスク労組委員長）、安部剛幹事（J R四国連合・四国KIOSK労組委員長）、後藤啓治幹事（J R九州連合・J R九州エンジニアリング労組委員長）が退任し、八木代表幹事をはじめとする14人の幹事を選出した。

組織強化については、J R東海連合で発生している大量脱退を念頭に、すべてのグループ会社で労働組合を組織し、加入を促進していく必要があること。労働条件の向上については、2020春季生活闘争への決意や、リニア開業にむけて東海連合も変化していかなければいけないこと、などにそれぞれ言及した。

大会には来賓として、J R東海秋原健二人事部長や糸川浩二労務課長、交運共済東海事業本部菅沼恒夫本

部長らが出席した。J R連合からは荻山市朗会長、今井孝治企画部長、北村公次労働政策部長（グループ担当）が出席した。

議事では、幹事会が提起した議案に対して加盟全24単組から発言があり、執行部の答弁を経て、森田政和事務局長が総括答弁を行い、すべての議案が満場一致で採択された。

また、役員選出では4年

連合の運動を牽引してきた森田事務局長が退任し、新たに尾内裕昭事務局長（J R東海ユニオン中央執行副委員長）を選出した。

なお、レセプションにはJ R東海伊藤彰彦事業推進本部長をはじめ、全24単組の会社幹部が駆けつけ、会社が抱える課題に労使が協力して取り組むこと、各単組の出席者と懇親を深めた。



鎌田会長の団結ガバロウでJ R東海連合一丸となった組織拡大・労働条件向上にむけ意思統一

交運労協 第13次ロシア訪問団  
ロシアの交通事情を学び  
働く仲間との連帯を深める

交運労協は8月24日から31日にかけて、自動車運輸連輸の全ロシア労働組合連盟（VKP）のそれぞれ委員（略称：国際連合）との交流は1984年に開始され、今回が13回目の訪問と中心に学んだ。

ロシア鉄道をはじめ、J R連合加盟単組のように労働者が経営課題を含め真摯な協議を重ねる建設的な労使関係を築く企業が多くあることが印象的だった。

また、ソ連時代からの伝統もあり、育児支援の環境が少ない国だが、非常に明るく親切で友好的な方々ばかりで、働く仲間との連帯を深める有意義な訪問となった。

また、ソ連時代からの伝統もあり、育児支援の環境が少ない国だが、非常に明るく親切で友好的な方々ばかりで、働く仲間との連帯を深める有意義な訪問となった。

また、ソ連時代からの伝統もあり、育児支援の環境が少ない国だが、非常に明るく親切で友好的な方々ばかりで、働く仲間との連帯を深める有意義な訪問となった。

また、ソ連時代からの伝統もあり、育児支援の環境が少ない国だが、非常に明るく親切で友好的な方々ばかりで、働く仲間との連帯を深める有意義な訪問となった。

また、ソ連時代からの伝統もあり、育児支援の環境が少ない国だが、非常に明るく親切で友好的な方々ばかりで、働く仲間との連帯を深める有意義な訪問となった。

## 交運労協 第13次ロシア訪問団 ロシアの交通事情を学び 働く仲間との連帯を深める

交運労協は8月24日から31日にかけて、自動車運輸連輸の全ロシア労働組合連盟（VKP）のそれぞれ委員（略称：国際連合）との交流は1984年に開始され、今回が13回目の訪問と中心に学んだ。

ロシア鉄道をはじめ、J R連合加盟単組のように労働者が経営課題を含め真摯な協議を重ねる建設的な労使関係を築く企業が多くあることが印象的だった。

また、ソ連時代からの伝統もあり、育児支援の環境が少ない国だが、非常に明るく親切で友好的な方々ばかりで、働く仲間との連帯を深める有意義な訪問となった。

また、ソ連時代からの伝統もあり、育児支援の環境が少ない国だが、非常に明るく親切で友好的な方々ばかりで、働く仲間との連帯を深める有意義な訪問となった。

また、ソ連時代からの伝統もあり、育児支援の環境が少ない国だが、非常に明るく親切で友好的な方々ばかりで、働く仲間との連帯を深める有意義な訪問となった。



女性活躍が著しいモスクワ州交通労組とバス企業を訪問

特集

民主化闘争 59 「トラジャ」 JR北海道の「歪な労政」を暴く

JR北海道の最大労組であるJR北海道労組(北鉄労)は、6月9・10日、第34回定期大会を開催し、役員改選で鎌田寛司氏が委員長を退任し、新たに笹森哲也氏が新委員長に就任、書記長には高橋秀幸氏が再任された。また、顧問の佐々木信正氏(72歳)が顧問の嘱託を解かれ、組合の役割から完全に離れることになった旨、雑誌「ACCESS」で報じられた。「ACCESS」によれば、佐々木氏は「機関開催の際には委員長席の真後ろに鎮座し、終始無言ながら存在感を放っていた」由、まさに「JR北海道労組のドン」と言われてきたのである。しかしながら、今回笹森体制とはなつたものの、佐々木氏がこれまで築いてきた影響力を背景として、今後もしばらくの間、JR北海道労組の経営に介入し、労政の「犠牲者」と題した第3部では、革マル派がJR北海道の経営に介入してきたことや、それが「2人の社長の死」に影響したとする章立てになっている。今年4月末に発行された新聞や雑誌などで多くの書評が掲載された「暴君」(牧久氏著書)では、「JRの妖怪・松崎明の亡霊」

富士山の森づくりボランティア活動 交運共済の仲間と 森林保護に貢献



8月31日、JR連合は、交運共済が公益財団法人オイスカの事業と協働して取り組む「富士山の森づくり」植林ボランティア活動に参画した。当該ボランティアは、山梨県鳴沢村(富士山2合目付近)における虫害の発生により損なわれた森林約100haの早期再生をめざして富士山に自生する広葉樹を植樹する取り組みであり、2007年よりJR連合も協働してきた経緯がある。今回は、松岡裕次理事長を始めとする



Advertisement for the book 'トラジャ JR「革マル」30年の呪縛、労組の終焉' (Traja: The Curse of JR 'Revolution' for 30 Years, The End of the Union). It includes a QR code and a description of the book's content regarding the internal struggles and leadership changes within the labor union.

「JR連合」発行日 変更のお知らせ 機関紙「JR連合」は、これまで毎月1日及び15日の発行を基本にしてきましたが、10月から毎月1日のみ発行とします。なお、職場討議資料等の特集号は継続して発行します。引き続き、機関紙「JR連合」では全国に目を向けた紙面構成や単組の取り組み紹介等の身近な記事を中心掛けるとともに、ホームページやSNSではよりタイムリーに情報を発信していきます。

JR連合青年・女性委員会第28回定期総会 鶴石議長を中心とした 幹事会体制を確立 9月7日、JR連合青年・女性委員会は、広島市内において、第28回定期総会を開催した。全国から約110人の仲間たちが参集し、「心ひとつに仲間とともに明るい未来へ」をスローガンに掲げ、向こう1年間の活動方針を決定した。JR連合から荻山市朗会長、中村鉄平交通政策部長(青



「心ひとつに～仲間とともに明るい未来へ～」を掲げ鶴石新議長の首頭で団結ガバロウ

極的参画を要請した。幹事会から経過報告の後、青年・女性委員会の行動指針である「ACTION CONCEPT 2nd」にもとづく活動方針として、2019年度の具体的な取り組みなどを提起し、7人の総会委員・特別委員からの発言があり、各幹事からの答弁を経て、鈴木大介事務局長が総括答弁を行った。新

Advertisement for '自然は強い。共済も強い。' (Nature is strong. Mutual aid is also strong.) It promotes disaster relief services provided by the mutual aid organization, including fire, earthquake, flood, and hospitalization relief. It features a QR code and a list of staff members.

Advertisement for 松尾哲也 (Matsuo Tetsuya), a member of the JR Kyushu Labor Union and a city councilor. It includes a photo of him and text about his background and political activities.